

令和6（2024）年5月

とうきょう

す

く

わ

く

プログラム



ポケットブック



東京都

とうきょう すくわくプログラム ってなに？

幼稚園や保育所ですべての乳幼児の
「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を
応援する**幼保共通のプログラム**です

「なんで？」
「どうして？」



好奇心を持つ
きっかけを増やす。

「できるかな？」
「こうしてみよう！」



考えを広げる。

「できた！」
「今度はあれを
やってみようかな」



考えを深める。

「すくわくプログラム」を通じて
すべての乳幼児の心の育ちをサポート

秋田喜代美 先生からのメッセージ

急激に変化する社会においては、
**新たなものを自ら作り出す創造力や、
仲間と協働し、問題を解決する力**が
とても重要になってきます。

この「**考え問う**」という力は、

人工知能にはない、人が持つ本質的
なもので、その基盤は、子供が**遊びや**

学びに夢中になる中で、様々な試行錯誤体験や気づき
を繰り返し、培われていきます。この姿が「**探究**」と呼ばれ
るものです。

「**とうきょう すくわくプログラム**」は、各園が大事にしている
活動や考えを基に、**探究活動を通じて、子供の豊かな
育ちを応援**する取組です。子供の心の動きに保育者の
皆さんも共にワクワクしながら、育ちあう姿を大事にして、
是非取り組んでみてください。

取組の輪が広がり、東京の幼児教育・保育が、
さらに幸せあふれるものになっていくことを期待します。



学習院大学文学部教授
東京大学名誉教授

秋田 喜代美 先生

「探究活動」による心の育ち

乳幼児期は、「**非認知能力**」を培う大切な時期

時代の変化は激しく、不確実性が増す中で、
自己肯定感や**思いやり**などの**非認知能力の育成**が、
生涯に渡るウェル・ビーイングに資するとして、
改めて注目されています。

非認知能力とは

自己にかかわる心の力

- ・自尊心
- ・自己肯定感
- ・意欲
- ・粘り強さ

社会性にかかわる心の力

- ・心の理解能力
- ・共感
- ・思いやり
- ・協同性

- 子供は日々の遊びの中で、無意識に「探究」を積み重ねながら成長
- プログラムの活用によって、単なる「遊び」にとどまらず、ねらいや意図をもって「探究」を実践

たとえば・・・

光の探究活動



✓ 水に反射する光を楽しむ など

音の探究活動



✓ 楽器を使い音の振動を感じる など

「あれ？」「なにかな？」という好奇心や
夢中になって遊び込む探究心を大切に育てていきます

「非認知能力」の育成等、
乳幼児の成長・発達をサポート

「探究活動」の流れ

- 各園の特徴や強みを活かしながら、子供たちの興味・関心に応じて**探究活動**を実践

テーマ例

光

色

泥遊び

自然

絵本

音

⑤振り返る・共有する

②問いを考える

①テーマを決める

③環境をデザインする

④探究活動を実践し、記録する

①子供たちの興味・関心を深められそうな**テーマを設定**します

②テーマに関する**子供たちの考えやイメージを聞き出すための問いを準備**します

〇〇ってなあに？

〇〇って見たことある？

③**素材や道具を準備**し、環境を整えます



④**探究活動を実践し、記録**します

**好奇心・探究心を
高められるよう言葉掛け**

**言葉・表情等の多様な表現に
耳を傾け、メモ・写真・映像等で記録**



⑤**保育者同士や子供たち同士で活動を振り返り**ます
子供たちの**活動を保護者等に共有**します



**探究をさらに深めるための
新たな問いや環境のデザイン**を考える

活動事例

テーマ：光

様々な光を当てながら水を探査する

環境をデザインする



水を入れた水槽とトレース台、卓上ライトを用意し、
光を当てた水の様子を探査できるように準備

探究活動を実践する



- ✓ 光を当てた水の様子を観察した
- ✓ 水に反射する光を楽しんだ

- ✓ ペットボトルを水の中に入れて浮力で浮き上がることを発見し、繰り返し試した

振り返りをふまえた気づき



先生A

- ✓ 0歳児も長い時間一人で探究していた



先生B

- ✓ 子供を「見る」ことを大切にすることで、子供の言葉が聞こえたような気がした

活動事例

テーマ：音（太鼓）

太鼓や様々なものを叩いてみる

環境をデザインする



大きさの異なる太鼓やどんぐりなどを使い、
音への興味関心を広げ、音を楽しめるよう準備

探究活動を実践する



- ✓ どんぐりを太鼓の上に乗せ、強く叩くとどんぐりが跳ねる様子を楽しんでいた



- ✓ 太鼓の大きさによる音の違いを楽しんでいた
- ✓ 太鼓の側面の穴に興味を持っていた

振り返りをふまえた気づき



先生A

- ✓ 太鼓の音でどんぐりが跳ねるなど、音を出すこととは違った面白さがあった



先生B

- ✓ 最初は太鼓に触れようとしなかった子も、友達に誘われたことで叩き始め、楽しむ様子が見られた

活動事例

テーマ：自然との関わり

集めた自然物を使って室内で遊ぶ

環境をデザインする



光を発する装置（ライトテーブル、投影機）を使い、
普段と異なる見え方で園庭で集めた自然物を
じっくり観察できるよう準備

探究活動を実践する



- ✓ 一つひとつ異なる色や形を持つ葉っぱや実などがどのように映るかを試した



- ✓ 子供たちが描いた自然の絵を壁に投影し、全身を使ったゲームを生み出していた

振り返りをふまえた気づき



先生A

- ✓ 子供たちは**自然物を色々なものに見立てていた**



先生B

- ✓ **葉や実での遊び方に決まりがないことに気付かされた**

活動事例

テーマ：表現（絵本）

絵本の世界を描く・冒険する

環境をデザインする



クレヨンや絵の具、筆、長いロール紙など、
子供が描きたいものに合わせ様々な道具を自由に
選べるよう準備

探究活動を実践する



✓ 絵本の内容をもとに、子供たちが想像した世界を絵で自由に表現した

✓ 長いロール紙に絵を描くことで、お互いの絵が繋がり、新しい物語が生まれていった

振り返りをふまえた気づき



先生A

✓ 最初は「できない」と言っていた子も、描き始めるとイメージがわいてきて止まらなかった



先生B

✓ 活動後の子供たちの表情がよく、「楽しかった！」という声があった



とうきょう すくわくプログラムはこちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（CEDEP）との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。

